（書式1）

2018年度

地域イノベーション大賞「申請応募書」

年 　月　 日

第１項 申請組織名

正式名称（英文名称も含む）、所在地等を記入してください。

|  |
| --- |
| 組織名： |
| 組織名： |
| 所在地：〒 |
| 職員数： |
| ホームページアドレス： |

第２項 代表者

代表者の氏名、役職を記入してください。

|  |
| --- |
| 氏名： |
| 役職： |

第３項 申込責任者

申込責任者の氏名、役職、所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレスを記入してください。

|  |
| --- |
| 氏名： |
| 役職： |
| 所在地：〒 |
| 電話番号： |
| FAX番号 |
| E-mail： |

（書式2）

「地域イノベーション大賞 申請書フォーマット」

基本的な考え方

この地域イノベーション大賞は、21世紀の日本全国に起こりつつある地域発生型のイノベーションを広く公募し、その中から優れた活動を表彰することで、日本社会において「地域発のイノベーションの取り組み」を活性化することを目的としています。

業種については、株式会社、NPO法人、教育機関、任意団体など組織形態にはこだわりません。また、個人であってもその活動が極めて特徴的である場合には、申請を認めます。

申請書の記載方法

申請貴組織が行っている「地域発のイノベーション（地域イノベーション）の取り組み」について、A4版用紙にて記述して下さい。枚数制限は設けません。

具体的な取り組みについて文章、図などを使って説明してください。

映像や資料などの追加メディアなどがあれば、申請書と共に添付してください。

その分野についての専門用語などがある場合は、用語集などの添付をお願いします。

なお、下記の様式にはこだわりませんが、以下の見方が審査の評点となりますので、誰のために、その取り組みがありそれを行うことによって、どんな風に地域を変えていくのか？出来るだけその成果についても具体的な数値によって、取り組みの成果が見られることが望ましいと考えます。

以下に記述していただきたい内容について、概念を示します。この順に記述いただければ幸いですが、必ずしもそれにはこだわりません。審査側に活動が具体的に解るように記述していただければ幸いです。以下の（　　　）の中に各項目の記述ポイントを載せましたので、記述の参考にしてください。

**１．組織が目指す「理想的な地域イノベーションの形（かたち）」**

以下の項目について記述をお願いいたします。

1. 具体的な貴組織の地域イノベーションの取り組みについて、文章、図などを使って説明してください。（ここでは貴団体が訴えたい、活動の内容について詳しく説明をしてください。全体のボリュームの半分くらいをこの部分の記述に費やしてください。審査側にこの活動がいかに革新的かという視点をもって、記述ください。以下の記述と重複しても構いませんので、よりくわしく記述してください。）
2. 代表者が組織の人たち全員とともに目指したいと思っている組織の「理想的な地域イノベーションの形」は、どのようなものですか？(本来この活動を推進することで、めざす革新の形についての到達すべき姿について、具体的に記述ください。)　その姿を「顧客への価値提供」（利用者へのメリット）「社員（構成員）への価値提供」（提供側のメリット）「活動自体の独自性」（活動の他にない点）「社会への貢献」（地域社会への貢献度）という4つの観点から整理し、記述して下さい。
3. なぜ、そのような状態を目指そうと思ったのか、その背景を説明してください。（活動を始めようと思ったきっかけを記述ください）

**２．現状認識と環境変化**

　以下の項目について記述をお願いいたします。

（1） 提供価値

顧客（対象者）に提供している商品やサービスと、その価値及び利便性を記述して下さい。また、それらの商品やサービスをお客様に供給・販売する方法も記述して下さい。

（2） 顧客認識

ターゲットとしている顧客・市場とはどのようなものですか。市場の特徴やお客様が何を求めているのか（ニーズ）、そのニーズに応えるための商品やサービスの内容を記述して下さい。また、顧客・市場が今後、どのように変化していくとお考えでしょうか。その変化の根拠も併せて記述して下さい。（今後の市場や顧客の未来予測を記述してください。）

（3） 競争認識

競争相手と考えている企業・組織はどのようなものですか。競争相手の社数や特徴、自組織も含めて競争相手の市場でのシェアや位置づけを記述して下さい。また、競争環境が今後、どのように変化していくとお考えでしょうか。現在の競争相手および新規参入の可能性も含めて、その変化の根拠と併せて記述して下さい。さらに、現在および将来の競争環境に関するあなたの組織が認識している課題について記述して下さい。（あらゆる、活動には競合が存在します。どういった組織を競合として認識して、そこから何を学び、差をつけて行こうとしているかを、記述ください。）

（4） 経営資源認識

経営資源に関する以下の項目について、お考えを記述してください。

1. 顧客価値を高め、競争力の源泉となっているあなたの組織・人材に蓄積されている主たる技術・ノウハウは、どのようなものがありますか。それらの技術・ノウハウはどのようにして蓄積されてきたのでしょうか。また、それらの技術・ノウハウはどのように競争力の源泉に結び付いているのでしょうか。（ここでは、貴組織がもっている能力について、記述ください。）
2. 顧客価値を高め、競争力の源泉となっているあなたの組織の主たる装置・設備・施設にはどのようなものがありますか。それらの装置・設備・施設は、どのように競争力の源泉に結び付いているのでしょうか。（貴組織の重要ノウハウについて主に、設備面から記述してください。無ければ、かならずしも記載しなくても構いません。）
3. 顧客価値を高め、競争力の源泉となっているあなたの組織の主たる財務活動は、どのようなものですか。特に、戦略的な意図を持って行っている財務活動があれば、記述して下さい。それらの財務活動は、どのように競争力の源泉に結び付いているのでしょうか。（貴活動によって収益は見込めるのでしょうか？活動の自立性という観点から記述してください。）
4. 顧客価値を高め、競争力の源泉となっているあなたの組織の主たるビジネスパートナーは、どのようなものですか。ビジネスパートナーの社数、特徴とともに、どのような区分をしているのかを記述して下さい。また、ビジネスパートナーに求める期待や要求、逆にビジネスパートナーから求められている期待や要求についても記述して下さい。（貴組織の活動を達成するためには、協力者とのコラボレーションが必要なはずです。その、ビジネスパートナーとの協力関係について記述してください。）
5. 経営資源に大きな影響を与える変化を、どのように予測していますか。その変化の内容と、結果として技術・ノウハウ、装置・設備・施設、財務活動がどのように変化するとお考えでしょうか。また、ビジネスパートナーはどのように変化するかも記述して下さい。（この活動が進化することで既存の組織はどのように変わっていくでしょうか？未来予測を含めて記述してください。）
6. 現在および将来の経営資源に関する、あなたの組織が認識している課題は、どのようなものですか。（組織の現在抱えている問題点について記述してください。）

**３．変革認識**

「理想的な地域イノベーションの形」を現実のものにするために、「提供価値」「顧客認識」「競争認識」「経営資源認識」それぞれで整理・認識した課題を踏まえ、どのような道筋（戦略）で「理想的な姿」を実現するか、その内容を記述して下さい。それによって組織全体の経営課題を明らかにすることが、この「変革認識」のポイントです。

（ここでは、理想とする未来形について、記述してください。）

**４．組織情報**

以下の項目に関する組織の情報を記述して下さい。

1. 対象とする顧客・市場の規模（顧客数、金額など）
2. 主要な事業所・拠点の所在地、および事業を展開している地域
3. 職員数（組織内にいる契約社員や派遣社員、パートタイム等を含む数、および社員区分ごとの内訳）。職員数は役職・機能別で記入してください。また、事業所・拠点の所在地ごとの人員数も記述して下さい。（全体の記載が難しい場合は申請事業に関わる組織だけで結構です。）
4. 申請者が株式会社である場合は、事業規模および主要な財務データ（会計年度（決算月）、過去3年分の売上・生産・取扱い高、資本金、営業利益額、キャッシュフロー、資産の額など）。ただしこちらについては、必須ではありません。公開できる範囲で結構です。
5. ビジネスパートナーの規模（ビジネスパートナーの数、取扱い高）

＊上記の記述について、ご不明な点や質問がありましたら、下記までお問い合わせください。なるべく、メールでの問い合わせを願いいたします。

〒519-2179

三重県多気郡多気町仁田725-1

万協製薬株式会社　第三工場　地域イノベーション学会事務局

電話番号0598-30-5266

メールアドレス　info@regionalinnovation.jp

「地域イノベーション大賞 評価チェックシート」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 評価大項目 | 評　価　中　項　目 |
| 評価の視点 | 組織が目指す「理想的な姿」 | 理想的な姿は明確に明示されているか |
| 外的動機（顧客にどういう価値を提供するか）と内的動機（会社としてありたい姿）が示されているか |
| 提供価値 | 提供価値は明確か |
| 提供価値に関する課題を、どのようなものと認識しているか |
| 顧客認識 | 価値を提供する顧客/市場は明確か |
| 顧客/市場に関する課題を、どのようなものと認識しているか |
| 競争認識 | 競合相手を明確に定めているか |
| 競争環境の変化予想の内容を明確に示しているか |
| 競争環境の変化予想に伴う課題を、どのようなものと認識しているか |
| 経営資源認識 | 自社の強みを明確に示しているか |
| その強みを競合と比較して示しているか |
| 自社の弱みを、明確に示しているか |
| その強みを競合と比較して示しているか |
| 自社の弱みを、明確に示しているか |
| 経営資源に関する課題を、どのようなものと認識しているか |
| 表現方法 | ストーリー性 | そのように認識した経緯や背景が記述されているか |
| そのように認識した理由が記述されているか |
| 理想的な姿、組織内外の経営環境認識、変革認識の関係性が明確になっているか |
| 文章等の適切性 | 第三者に言いたいことが伝わる表現になっているか |
| 表や図などを、構造・関係・順序などがわかりやすくなる様、適切に使用しているか |
| 誤字/脱字はないか |